別添資料1

令和５年度進行管理・評価シート
日南市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）

（最終変更令和５年３月３０日）

□進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式１－１）
1 法定協議会等の開催
各事業担当部局と事務局（教育委員会生涯学習課）との連携 ・・・・・・・・・ 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式１－２）
1 日南市伝統的建造物群保存地区保存条例による
現状変更行為の規制 ・・・・・・・・・ 2
2 城下町飫肥景観計画 ・・・・・・・・・ 3

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式１－３）
1 守永家（旧飯田医院）保存整備活用事業 ・・・・・・・・・ 4
2 日南市飫肥重要伝統的建造物群保存地区保存事業 ・・・・・・・・・ 5
3 飫肥地区景観計画に基づく民家修景事業 ・・・・・・・・・ 6
4 伝統的建造物群保存地区見直し調査事業 ・・・・・・・・・ 7
5 案内板・説明板整備 ・・・・・・・・・ 8

④文化財の保存又は活用に関する事項（様式１－４）
1 文化財調査・指定 ・・・・・・・・・ 9
2 文化財の普及・啓発① ・・・・・・・・・ 10
3 文化財の普及・啓発②　文化財の防災 ・・・・・・・・・ 11

⑤効果・影響等に関する報道（様式１－５）
1 新聞等報道記事 ・・・・・・・・・ 12

□法定協議会等におけるコメントシート（様式4） ・・・・・・・・・ 13

評価軸①-1
法定協議会等の開催

評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況
法定協議会等の開催 各事業担当部局と事務局（教育委員会生涯学習課）との連携	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	本計画に基づく各事業の実施にあたっては、文化遺産の保存や活用に関わるまちづくり団体や市民、文化遺産所有者等の意見交換や協力を得ながら進めること。庁内では、歴史まちづくり庁内ワーキング会議において、文化財審議会や伝統的建造物群保存地区保存審議会、景観協議会等の関係審議会等の意見を聞きながら、各事業担当部局と事務局（教育委員会生涯学習課）が連携して事業を推進する。事業の方針や基本的内容については、法定組織である日南市歴史的風致維持向上計画推進協議会にて決定する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和5年度は、推進協議会（法定協議会）を開催し、進行管理・評価シートの確認を行った。
日南市伝統的建造物群保存地区保存審議会では、現状変更許可についての報告や来年度の伝建事業候補物件等について委員に説明を行った。また、日南市歴史的風致維持向上計画庁内ワーキング会議では、各事業の進捗状況等について、各事業担当者と情報共有を行った。
各会毎に、事業についての委員の意見や指摘もあり、事業の完遂に向けての意見交換が行われ、進捗についての意識の共有を図ることができた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	事業を滞りなく進めるため、引き続き庁内ワーキングで情報共有等を行い、事業を進めていく。

状況を示す写真や資料等

1　日南市歴史的風致維持向上計画推進協議会
（１）開催日：令和５年5月26日（金）　14:00～15:00
（２）場　所：日南市役所　北プレハブ会議室301号
（３）議　題：歴史的風致維持向上計画の
　　進行管理・評価シートについて

日南市歴史的風致維持向上計画推進協議会の様子

2　日南市伝統的建造物群保存地区保存審議会
（１）開催日：令和５年11月７日（火）　14:00～15:30
（２）場　所：日南市立図書館　２階会議室
（３）議　題：令和５年度 現状変更許可について（報告）
　　令和５年度 伝建事業について
　　令和６年度 伝建事業（候補）について
　　その他

伝統的建造物群保存地区保存審議会の様子

3　日南市歴史的風致維持向上計画庁内ワーキング会議
（１）開催日：令和５年７月27日（火）　９:00～10:00
（２）場　所：日南市役所　生涯学習課横　会議室
（３）議　題：ア）日南市歴史的風致維持向上計画推進協議会の報告
　　イ）進行管理・評価シートについて
　　ウ）各事業の進捗状況について

（１）開催日：令和５年12月15日（月）　13:30～14:30
（２）場　所：日南市役所　生涯学習課横　会議室
（３）議　題：ア）歴史的風致維持向上計画の
　　進行管理・評価シート作成について
　　イ）各事業の進捗状況について

日南市歴史風致維持向上計画庁内ワーキング会議の様子

進捗評価シート　（様式1-2）

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況
日南市飫肥伝統的建造物群保存地区保存条例による現状変更行為の規制	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	日南市飫肥伝統的建造物群保存条例では、保存地区内の現状変更はすべて許可制とし、特に必要と認められる物件には経費の一部を補助することができる。同上条例に基づいて策定された保存計画では、保存地区内の保存に関する方針や保存すべき内容、施設整備計画、経費補助等の計画を定めている。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和5年度は、保存計画に基づいた伝建地区内の現状変更許可申請書の提出が5件あった。申請内容等については、塀の修繕や塗装、修理修景事業による現状変更等であったが、申請者と施工内容について協議、調整し、許可したことで、飫肥地区の歴史的風致に沿った町並みを維持することができた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	現状変更許可申請書を提出してもらうことで、飫肥地区の歴史的風致に沿った町並みを維持できているが、今後も機会あるごとに伝建地区の制度等について周知していく。

状況を示す写真や資料等

《現状変更許可申請の内容》

①岩満家屋根修景
（伝建補助対象事業）

②崎田家入り口形状変更

③藤栄家外壁塗装

④藤澤家新築建設

⑤伊東伝左衛門家玄関東塀の扉修繕

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況
城下町飫肥景観計画	□実施済 ■実施中 □未着手

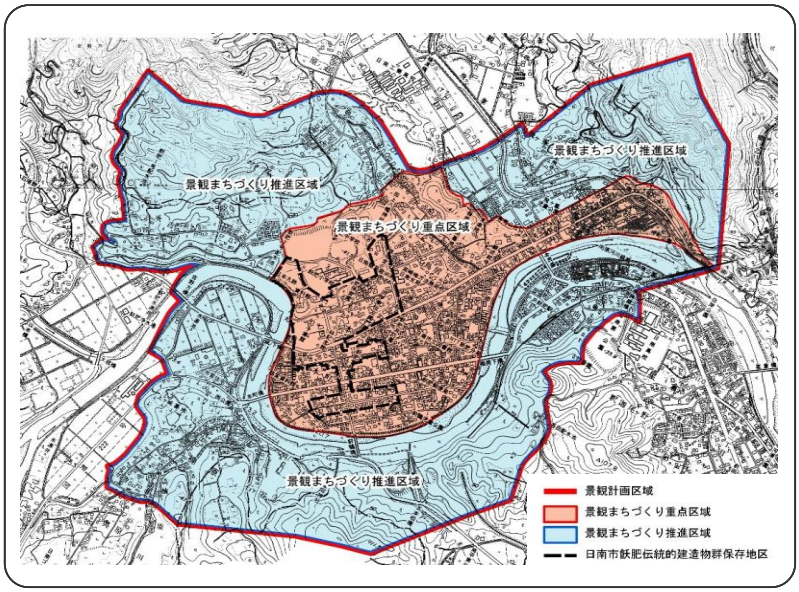
計画に記載している内容	本景観計画では、景観計画区域として景観まちづくり重点区域と景観まちづくり推進区域を設定し、区域内の景観形成基準に基づき、届出対象行為を設定している。 景観形成基準では、建築物の高さ、色彩や形態・意匠等についても、飫肥の歴史的まちなみ景観にあった基準を設け、各種開発行為等も含めて、事前協議の上、届出することを義務付ける。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和5年度は、景観計画に基づいた建築物等の届出は14件だった。新築のほか、屋根や外壁の塗装塗替えによる届出もあった。届出の必要性について、広報誌にて周知を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	景観計画に基づいて、重点区域内での景観が維持できている。今後も、事前協議及び届出等、景観計画について、建築・設計業者や不動産業者に至るまで周知徹底に努める。

状況を示す写真や資料等



届出対象行為

景観計画区域において、以下に定める行為を行う場合、あらかじめ市に届出を行う必要があります。

届出対象行為		行為の規模	
		景観まちづくり重点区域	景観まちづくり推進区域
建築物※1	新築、増築、改築※2若しくは移転	すべて	
	外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	外観の変更に係る部分の見付面積が10㎡以上のもの	
	太陽光発電設備（温水器含む）の設置	すべて	―
	除却	すべて	―
工作物※3	新設、増築、改築若しくは移転	すべて	
	外観を変更することとなる修繕若しくは模様替え又は色彩の変更		
	垣、門、塀の除却	すべて	―
開発行為※4		すべて	3,000㎡を超えるもの
屋外における土石、廃棄物※5、再生資源※6その他の物品の集積・堆積・貯蔵		10㎡を超える行為若しくは高さ1.5mを超えるもので、堆積期間が90日以上のもの	
土地の形質の変更（土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採、その他の土地の形質の変更　※開発行為は除く）		すべて	3,000㎡を超えるもの
木竹の植栽又は伐採（保安林※7での行為を除く）		土地の用途変更となるものすべて	

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況
守永家（旧飯田医院）保存整備活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成27年度～令和7年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	歴史的な建造物である旧飯田医院(洋館)と主屋(和館)について、公開活用を図るため、屋根、外壁、内装等の全面修理を行い、観光案内や休憩、地場産品の販売軽食の提供等を行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

これまで、民間利活用による公募等を実施したが、活用事業者が決まらないままであったため、令和5年度において、改めて庁内の関係課と洋館活用に関する協議を行い、活用の可能性について検討した。また、和館と納屋については、老朽化が著しく、瓦の飛散等の被害の防止のため、解体することとなった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	和館と納屋については、老朽化による危険性が高いため、解体をする。 また洋館については、保存に努め、民間利活用に限らずその他の活用方法についても、引き続き検討していく。

状況を示す写真や資料等

洋館

和館

和館

納屋

守永家（旧飯田医院）
R5.3.23撮影

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況
日南市飫肥重要伝統的建造物群保存地区保存事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	昭和52年度～
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金（文化庁補助事業）
計画に記載している内容	日南市重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和５年度は、間接事業として①「岩満家屋根修景事業」を実施した。
①岩満家は昭和50年頃に建てられ、平成13年度に修景工事を実施した建築物である。令和５年度は修景事業として屋根瓦の葺き替えを行った。
毎年、２～３件程度の修理修景工事を実施しており、継続的に修理・修景を行うことで飫肥のまちなみの景観向上につながっている。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	令和6年度、市は1件の修景事業を国に要望しており、引き続き事業を進めていく。

状況を示す写真や資料等

岩満家屋根修景事業

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

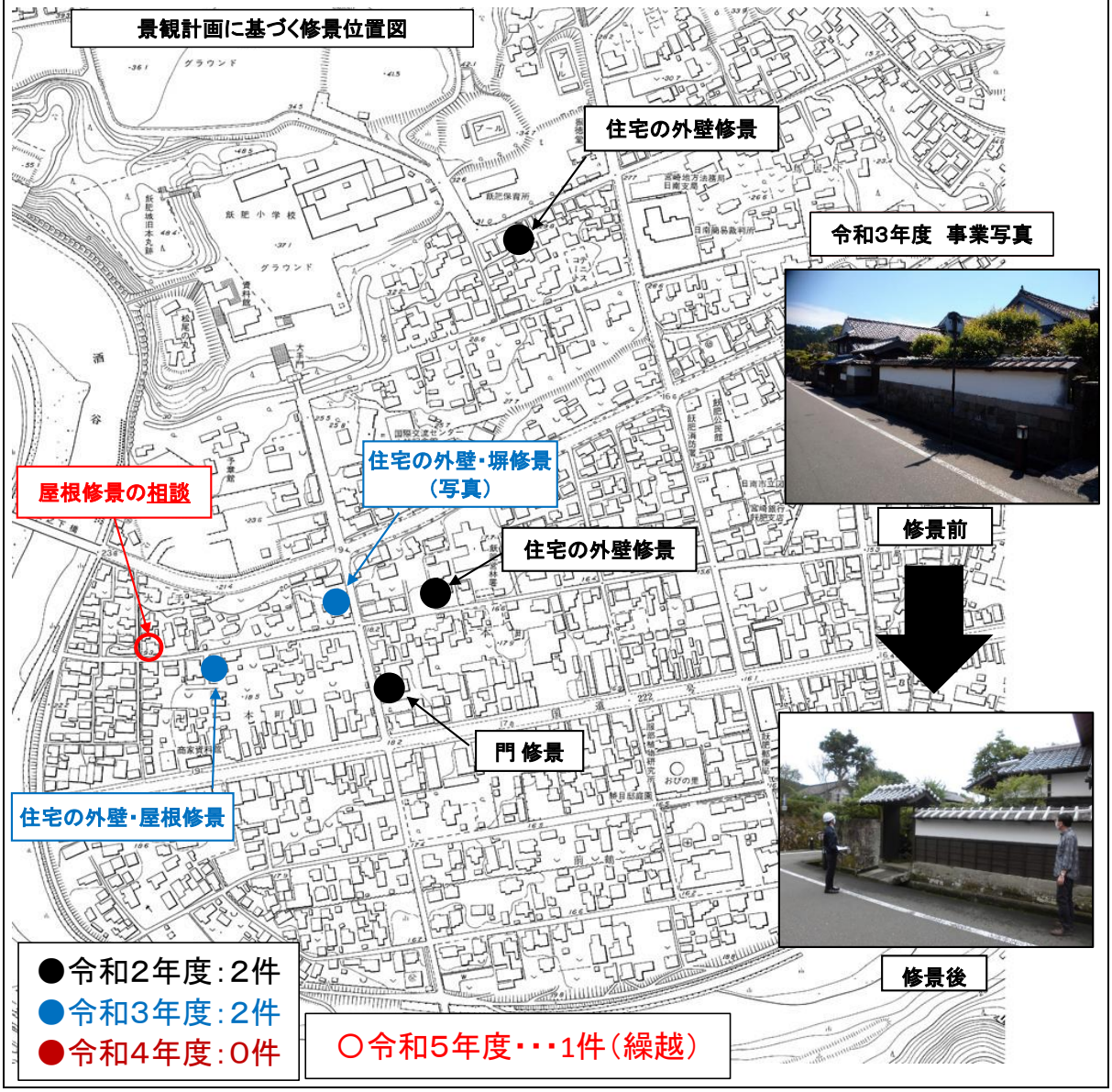
評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況
飫肥地区景観計画に基づく民家修景事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成27年度～令和7年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	飫肥地区景観計画の区域内において、景観計画の景観形成基準に沿った修景を行う者に対して、修景費用の補助を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

日南市景観形成推進事業補助金交付要綱に基づき補助を行っている。令和5年度については、飫肥地区において、1件の申請があり、令和6年2月に交付決定している。完成予定が令和6年6月であるため、繰越となった。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	今後もホームページだけでなく効果的な周知方法を探りながら、地域に広く周知していく。

状況を示す写真や資料等



進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

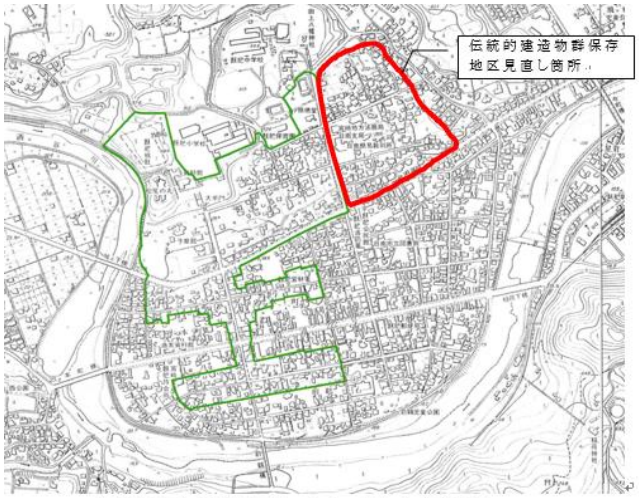
評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況
伝統的建造物群保存地区見直し調査事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	飫肥城下のうち、地区外の地域でも良好な歴史的風致を保つ地区があるが、居住者の高齢化等でそれらの維持も難しくなってきている。これら地区の課題を正確に把握し、今後の町並み保存に努めていくために、伝統的建造物群保存地区の見直し調査を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

伝建地区選定後、40年以上が経過し、地区住民の世代交代等も進んでいることから、改めて伝建制度の周知を図るため、市の公式ホームページの見直しを行い、これまでよりも制度や規制について分かりやすい情報発信に努めた。加えて、定期的な情報発信のため、市の広報誌に伝建と景観の制度内容を周知するための特集ページを掲載した。

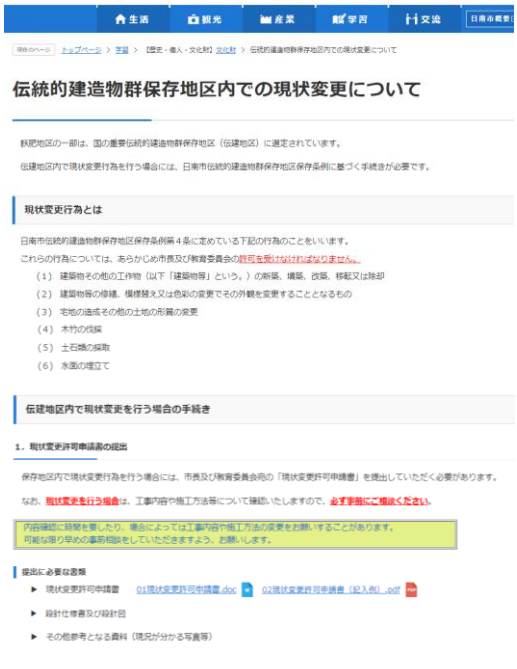
進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	今後も、ホームページや市広報誌を通じて、定期的な情報発信を行うとともに、伝統的建造物群保存地区の見直し調査に向け、地域の方の意見を聴くなど、現状確認を最優先とした取り組みを進めていく。

状況を示す写真や資料等



伝統的建造物群保存地区見直し調査事業位置図

伝建地区外の道路
当時のかぎ状のまま、現在も残っている。



市ホームページ　抜粋

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況
案内板・説明板整備	■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成27年度～令和4年度
支援事業名	地域資源を活用した観光地魅力創造事業
計画に記載している内容	飫肥地区は、日南市内でも維持向上すべき歴史的風致が集中して残っている地域であり、多くの観光客や市民が行き交う。この歴史的風致をより多くの観光客や市民に周知し、飫肥地区への集客、飫肥地区内でのより分かりやすい誘導のために、重点区域全域に案内板や説明板を設置する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

案内板等の内容について、平成28年度の案内サインの調査結果（日南市におけるクルーズ船客等受入れに向けたインバウンド受入れ環境整備調査検討事業）を基に、ワーキンググループなどで詳細を検討してきた。また、令和元年度には事業実施に向けての検討を行い、令和3年度には、回遊性を促進する飫肥城歴史資料館と小村寿太郎記念館の展示リニューアルを実施するとともに、案内サインについてもワークショップを開催して基本となるデザイン検討した。
令和4年度にワークショップで検討したデザインを基本に、令和4年10月に発注し、令和5年3月30日完成した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	飫肥の景観を損ねず、施設をどのように表現するか、デザイン及び看板の色を慎重に検討をし、既に設置を完了した。

状況を示す写真や資料等

案内サインデザイン

観光駐車場入口付近

豫章館入口

旧伊東伝左衛門家付近

小村寿太郎記念館

評価軸④－1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況
文化財調査・指定	■実施済 □実施中 □未着手

計画に記載している内容	歴史文化基本構想策定時の調査や、これからの調査を元に、市域全体の指定文化財の見直しを進め、指定して保護していくものについては、積極的に指定していく。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

市指定文化財候補物件である「鵜戸山のツマベニチョウ及びその生息地」について、指定範囲の検討を行った。検討にあたっては、長年鵜戸神宮の山林でツマベニチョウの生態を研究している岩﨑郁雄氏（日南市文化財審議会委員）より資料提供や助言を得て行った。指定範囲については市文化財審議会（3月開催）での諮問を経て了承を得た。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	文化財審議会（3月開催）での諮問を経て、5月以降に教育委員会による指定の告示を行う。

状況を示す写真や資料等

ツマベニチョウは1945年に県内で初めて鵜戸で確認され、1990年に鵜戸山での越冬が確認されたことで鵜戸が世界最北限の生息地となっていることから、鵜戸山のツマベニチョウとその生息地の環境を次の世代へ良好な状態で継承していくことを目的に市の天然記念物に指定し、今後のその保護を図っていく。

評価軸④－2
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況
文化財の普及・啓発 ①	■実施済 □実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財見学会や、ワークショップによる地域の文化財の再発見、文化財マップや文化財冊子等の配布により、文化財の普及啓発に努める。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

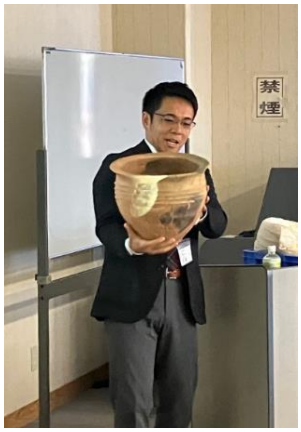
市内の文化財等をバスで巡る「新ふるさと発見講座」を6回開催した。本年度は、地域ごとに座学1回と現地講座を1回実施し、3地域を中心に講座を実施した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	本年度は、一地域ごとに座学と現地講座を組み合わせ、座学で学んだことを現地講座で確認・体感してもらう方法を採用し、参加者の意欲や理解度の向上を図った。

状況を示す写真や資料等

<u>1　新ふるさと発見講座</u>

日にち：全6回
　　11月23日（座学）、12月5日（現地）、1月9日（座学）、1月30日（現地）、
　　2月13日（座学）、2/27（現地）
場　所：まなびピア視聴覚室 、榎原・飫肥・油津
参加者：15名
内　容：座学を含め、文化財や施設等をわかすぎ号で回り、日南市を再発見する全6回の講座を実施。



講座の様子

現地講座の様子

評価軸④－2´
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況
文化財の普及・啓発 ② 文化財の防災	■実施済 □実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財見学会や、ワークショップによる地域の文化財の再発見、文化財マップや文化財冊子等の配布により、文化財の普及啓発に努める。 指定文化財については、市文化財保護条例で管理者を定め、日常的な管理と見守りを行うことで、防火、防犯、防災につとめる。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和5年11月18日㈯、参勤交代路として江戸時代に利用された旧街道を散策する「歩き・み・ふれる歴史の道『飫肥街道』ウォーキング」を開催した。今回は市内外から9名の参加があった。
また、防災活動については、令和6年1月26日㈮の文化財防火デーにあわせて飫肥城の豫章館（御数寄屋）にて消防訓練を行った。参加者は関係課職員を含めて30名であった。消防による各施設への防火指導も別途行われた。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	次年度以降も継続して実施していく。 多くの方に参加してもらえるように、広報誌や市のホームページを活用し周知するとともに、「飫肥街道ウォーキング」ではより魅力のある事業にするため、参加者へのアンケートを実施する。

状況を示す写真や資料等

1　歩き・み・ふれる歴史の道「飫肥街道ウォーキング」

（1）日　時：令和5年11月18日（土）
（2）参加者　：9名
（3）内　　容：　歴史の道百選に選定されている山仮屋関所跡付近の歴史の道「飫肥街道」（約4km）をゆっくりと散策した。

2　文化財消火訓練

（1）日　時：令和6年1月26日（金）
（2）場　所：豫章館御数寄屋（飫肥）
（3）内　容：実際の火災を想定し、参加者それぞれが役割を持って、初期消火・通報・避難誘導等の一連の流れを確認しながら訓練を行った。

評価軸⑤－1
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和5年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
日南市直営 飫肥城由緒施設　指定管理者を来月募集	令和5年8月5日	宮崎日日新聞
小倉処平遺徳しのぶ　日南地域住民ら墓前祭	令和5年8月19日	宮崎日日新聞
七夕飾り 城下町に彩り	令和5年8月30日	宮崎日日新聞
飫肥の宿泊施設事業継承　JR九州、地区内企業へ	令和5年9月5日	宮崎日日新聞
飫肥の鉄道史学ぶ　史跡巡り市民散策	令和5年9月21日	宮崎日日新聞
探訪 まちの文化財　堀川橋	令和5年9月24日	宮崎日日新聞
泰平踊観光客魅了　飫肥で保存会定期公演	令和5年9月26日	宮崎日日新聞
小村寿太郎の遺徳継承する	令和5年12月2日	宮崎日日新聞
しめ縄、門松 観光客ら歓迎	令和5年12月16日	宮崎日日新聞
城改築や家老功績知って　飫肥歴史資料課で企画展	令和6年1月19日	宮崎日日新聞
手作り正月飾り楽しんで　日南「豫章館」、14日まで	令和6年1月8日	宮崎日日新聞

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

市内の文化遺産や伝統芸能等が数多く報道された。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	今後も日南の歴史的風致を幅広く発信していくため、関係課及び関係機関との連携を充実させる必要がある。

状況を示す写真や資料等

法定協議会等におけるコメント

（様式4）

評価対象年度	令和5年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称：日南市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時：令和5年5月26日（金） 14:00～15:15

（コメントの概要）

1 評価軸③－1 守永家（旧飯田医院）保存整備活用事業について

《委員からの意見》
事業を進めていくために、今後の活用方針を関係部署と見直す必要があるのではないか。
観光面だけではなく、歴史的な面にも焦点を当てて活用を考えても良いのではないか。

2 評価軸③－4 伝統的建造物群保存地区見直し調査事業について

《委員からの意見》
いきなり伝統的建造物群保存地区にするのではなく、まずは日南市独自の規制をかけた地区にするのも良いのではないか。

（今後の対応方針）

1 評価軸③－1 守永家（旧飯田医院）保存整備活用事業について

関係部署と連携して、効果的な活用方法を検討し、施策を展開していく。

2 評価軸③－4 伝統的建造物群保存地区見直し調査事業について

いただいた意見も踏まえ、効果的な見直し調査方法について検討していく。